

平成28年度指標に対する実績評価

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
1-1	所蔵資料点数	350,000点	310,887点	89%	予算の範囲において、効率的な選書を行い、所蔵資料数増を目指す。
評価	中央図書館及び自動車図書館に所蔵する資料について、毎週図書選定委員会にて選定会議を開き、利用者の要望等を反映しつつ、良質な資料の収集に努めたが、受入点数には限界があり目標値に到達しなかった。また、所蔵スペースに限りがあり、今後の課題である。				
1-2	個人貸出図書冊数	850,000冊	850,885冊	100%	幅広い年齢層を意識して利用の促進を図り、目標冊数を目指す。
評価	活字離れもあり、850,000冊前後がここ数年の数値となっている。実績値が目標値を超えているが、今後も館内利用促進事業やブックトーク事業等によって読書推進を図り、貸出冊数の増に努めたい。				
1-3	団体貸出図書冊数	15,000冊	10,582冊	71%	学校や公共機関等への団体貸出しを促進し、読書推進活動の向上を目指す。
評価	小学校・保育所・幼稚園・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数は、目標値の71%であった。今後も、読書推進の広報活動に努め、登録団体を増やすなど貸出増を目指したい。				
1-4	貸出視聴覚資料点数	120,000点	78,063点	65%	供給数が限られているため、資料の厳選に努め、効率的な貸出しを目指す。
評価	視聴覚資料の貸出は減少傾向にあり、達成は難しいところがあるが、限られた予算の中で良質な資料の選定に努め貸出増を図っていきたい。				

2 市全体へのサービスに関する指標（7項目）

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
2-1	図書館情報紙の発行回数	5回	4回	80%	図書館からの情報を積極的に発信する。
評価	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」それぞれの発行回数は、各2回となり、目標の5回には達しなかった。作成の負担を考えると現状の4回が限度に近い状態であると思われるが、広報PRとして今後も積極的に発信していきたい。				
2-2	返却窓口の返却冊数	110,000冊	107,689冊	98%	返却窓口を増やすなどの検討しながら利便性の向上に努める。
評価	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎にあるブックポスト及びオンラインの4交流センターに返却回収された図書資料の冊数は、平成27年度に比べ約24,000冊増え、目標値に近づいた。ブックポスト等の利用が定着してきたと考えられる。				
2-3	図書館ホームページへのアクセス件数	300,000回	361,397回	120%	図書館ホームページの内容充実を図り、利便性の向上を目指す。
評価	パソコン又はモバイル端末等からインターネットを経由して、図書館ホームページにアクセスしてきた件数については、年々伸びを見せ、目標値を超える結果となった。利用者満足度調査においてもホームページから情報を得ているという回答が一番多いことから、今後更に見やすいホームページに努めたい。				
2-4	年間開館日数	287日	287日	100%	年間の開館日数を増やし、図書館利用の促進を図る。
評価	月曜祝日開館及び5月、9月の連休を開館して、開館日数を増やすことにより、目標値に近づいた。				
2-5	年間開館時間	2,508時間	2,502.5時間	99.7%	開館日数増に比例して年間の開館時間を増やし、利用促進と利便性向上に努める。
評価	月曜祝日開館及び5月、9月の連休を開館して、開館を増やしたことにより、前年度より開館時間を増やすことができた。				
2-6	新規登録者数	6,500人	6,101人	94%	転入者等や図書館未利用者に対してPRに努め、図書館利用者を増やす。
評価	当該年度に新たに図書館利用者カードを作成した人数は、自動車図書館のステーションとなる小学校の新一年生分を含め目標人数に近づく数値となった。				
2-7	来館者数	580,000人	548,777人	95%	減少傾向にあるため、来館者増を目指す。
評価	館内に入館した利用者の延べ人数は、95%と目標値に近い人数となった。更に情報発信に努め来館者増につなげていきたい。				

3 障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,100冊	1,809冊	86%	出版数が限られているので、計画的な蔵書に努め、目標数を目指す。
評価	障害のある方や高齢者等のための大活字本の所蔵冊数は、目標値には足りないが、増えている。出版数が少ないこともあるので、今後も計画的蔵書に努め、所蔵を増やしていく必要がある。				
3-2	大活字本の貸出冊数	1,800冊	2,202冊	122%	大活字本コーナーの表示やPR等に努め利用促進に努める。
評価	年間貸出冊数の目標は達成したが、昨年度より減少しており、大活字本についての周知を図っていききたい。				
3-3	外国語資料の所蔵点数	12,000冊	10,246冊	85%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を目指す。
評価	外国語資料については英語、中国語、韓国語を中心に児童書及び一般書の蔵書数であるが、目標値には、まだ達していない。今後も計画的に多言語資料の収集を行っていききたい。				
3-4	外国語資料の貸出冊数	8,000冊	8,328冊	104%	外国語資料コーナーの配架や掲示等の充実に努め、利用促進を図る。
評価	外国語資料の年間貸出冊数は、目標値に達成した。今後も資料の受入とPR等に努めていききたい。				
3-5	点字資料の所蔵点数	230点	214点	93%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を目指す。
評価	当館の点訳ボランティアが作成した点字資料及び購入した点字資料の合計点数であるが、目標達成に向けて、今後も積極的に資料数増に努めたい。				

4 地域支援サービスに関する指標（4項目）

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
4-1	自動車図書館利用人数	15,000人	12,022人	80%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実に図り、利用者数増を目指す。
評価	自動車図書館(2台)の年間利用人数(貸出人数)は、天候に大きく左右され、雨天時は運行できないこともあり、目標値は到達できなかった。今後、ステーションの見直し等を検討し、利用者増を図っていききたい。				
4-2	自動車図書館貸出冊数	55,000冊	47,889冊	87%	自動車図書館資料の充実に努め、貸出冊数の増を目指す。
評価	目標冊数には到達できなかったが、昨年度より1割増の貸出となった。				
4-3	自動車図書館 予約受付件数	300件	183件	61%	自動車図書館利用を促進し、効率的な予約処理に努める。
評価	運行が1ステーション2週間に一度及び天候により運休になることから、自動車図書館での予約件数は、目標値の6割となってしまった。今後、自動車図書館のPRに努めたい。				
4-4	相互貸借冊(点)数	2,400点	2,360点	98%	他の図書館と連携して、市民に様々な資料提供についてPRし、幅広い資料提供を図り、貸出し数増を目指す。
評価	目標値にはやや達していないが、昨年度より127点増えた。県内でもつくば市の相互貸借の利用件数は大変多い。今後もPRに努め利用者のサービス向上を目指していききたい。				

5 課題解決支援, 利用者の情報活用能力に関する指標 (3項目)

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
5-1	地域支援事業等参加定員に対する参加者割合	105%	89%	85%	図書館が積極的に市民向けの図書館講座等を開催し, 図書館に関する関心を高め読書推進活動の向上を目指す。
評価	当館事業の「わくわくランド」及び「ファーストブック講座」の参加割合である。ファーストブック講座は人気があり平成27年度から2回講演にしたため, 集客数が分散し, 結果として実績値が低くなった。				
5-2	レファレンス受付件数	1,700件	1,794件	106%	レファレンス能力の向上とPRに努め目標件数を目指す。
評価	目標値を上回った。本の貸し出しと同じくらい基本的な図書館サービスの「調べもののお手伝い」をするという利用を大いに活用していただいている。今後も職員のレファレンス能力の向上に努めたい。				
5-3	予約件数	74,000件	88,378件	119%	図書館窓口のほか図書館ホームページやインターネット登録の充実を図り, 円滑な予約の推進に努める。
評価	年々向上している項目で, 昨年度よりも目標値を大きく上回った。パソコン・スマートフォン・携帯等の利用増により, 手軽に予約できるため, 今後も件数増が見込まれる。				

6 学校図書館支援に関する指標 (5項目)

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
6-1	ブックトーク事業参加校数	44校	46校	105%	学校への積極的なPRを行い, 実施校数の増を目指す。
評価	市内の4年生及び7年生を対象に参加希望をとり図書館職員が学校に向いてブックトークを行う事業。学校への周知を図ったこともあり平成27年度小学校・義務教育学校全校及び中学校・義務教育学校9校参加という, これまでで最も多い結果となり, 目標値を達成した。				
6-2	職場体験学習受入人数	25人	39人	156%	図書館の受入体制の拡充に努め, 受入人数増を目指す。
評価	中学校・義務教育学校での教育カリキュラムに組み込まれている中学2年生・義務教育学校8年生を対象にした職場体験の場として受け入れた人数であるが, 受入日数を増やしたこともあり, 目標を大幅に達成した。				
6-3	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	87人	86人	99%	司書教諭や司書教諭補助員のスキル向上を図るため, 有意義で魅力的な研修を実施し, 参加者数増を目指す。
評価	市立学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施した研修の参加人数である。対象者の自主的参加によるもので, 当該年度は, ほぼ目標値に近い数字となった。				
6-4	社会科見学受入学校数	10校	6校	60%	図書館の受入体制の拡充に努め, 受入人数増を目指す。
評価	年間を通しての社会科見学受入数は目標値に達成しなかった。市内小学校・義務教育学校及び養護学校が参加校である。				
6-5	ジュニア図書館員受入人数	70人	45人	64%	図書館の受入体制の拡充に努め, 受入人数増を目指す。
評価	目標値が高く設定してあり, 達成が難しい。また, 主要な広報紙での掲載周知期間が短かったため達成度が低くなってしまった。更に, 広報活動に努めるとともに, 実施日等を工夫して受入人数を増やしたい。				

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	目標値	H28年度実績値	達成度	目標値の設定理由
7-1	利用満足度調査の満足度	80%以上	85%	106%	図書館利用者の満足度を把握し, 将来の図書館運営の向上を目指す。
評価	3月中の12日間, 中央図書館利用者に対して図書館サービスの満足度調査を実施。その結果, 満足又はやや満足と回答した方が85%となり, 前年度より高い評価となった。この結果を受け, 更にサービス向上に努めたい。				